

授業科目 神経系治療学

【担当教員名】 高木昭輝	対象学年	3	対象学科	理 学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

理学療法士が対象とする神経系・筋系障害を総合的にとらえ、神経生理学的、神経学、筋学、理学療法の臨床的知を統合して治療計画をたてること、および実施ができる。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- 1 基礎的な神経学的障害・筋学的障害による運動障害について例を挙げて説明することができる。
- 2 一般的な神経学的・筋学的異常性について説明することができる。
- 3 一般的な神経学的・筋学的異常性について理学療法的アプローチを列挙することができる。
- 4 一般的な神経学的・筋学的異常性について、効果的な代償的手段を列挙することができる。
- 5 一般的な神経学的・筋学的障害に対して、広く社会参加、QOLの向上などを広範囲かつ柔軟に配慮することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション	の	講義
2	神経学的・筋学的障害の治療に関する理学療法的アプローチ	1	講義
3	パーキンソン病など	1	講義
4	脊髄小脳変性症（1）	1, 2	講義
5	脊髄小脳変性症（2）	1, 2	講義
6	筋萎縮性硬化症	1, 2, 3	講義
7	脊髄損傷（1）	1, 2, 3	講義
8	脊髄損傷（2）	1, 2, 3	講義
9	高次脳障害	1, 2, 3, 4	講義
10	脳血管障害（急性期）	1, 2, 3, 4	講義
11	脳血管障害（2）	1, 2, 3, 4, 5	講義
12	自習または振り替え授業		
13	筋ジストロフィー症（1）	1, 2, 3, 4	講義
14	筋ジストロフィー賞（2）	1, 2, 3, 4, 5	講義
15	まとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	神経学的理学療法〔問題点と解決方法〕：Dusan Edwatd著、真野行生監訳、医歯薬出版			
参考書	神経系のリハビリテーションー多重感覚治療法：Schereen D. Farber著 平山義人、鷺田孝保監訳、協同医学疼痛のとりえ方 理学療法MOOK 3 鈴木重行、黒川幸雄編集、三輪書店			
その他の資料				
【評価方法】		【履修上の留意点】		
授業貢献度、出席、発表、期末試験などを総合的				